

平成29年度 自己評価結果

川辺町第1こども園

評価項目	評価内訳(割合)	
	できている	できていない
1、総則	87.0%	13.0%
(1)教育及び保育の基本と目標	88.5%	11.5%
(2)特に配慮すべき事項	85.5%	14.5%
2、子どもの発達	97.1%	2.9%
3、「ねらい」及び「内容」	89.6%	10.4%
(1)健康	94.1%	5.9%
(2)人間関係	94.1%	5.9%
(3)環境	83.2%	16.8%
(4)言葉	93.2%	6.8%
(5)表現	85.0%	15.0%
4、低年齢児の保育実施上の配慮事項	90.2%	9.8%
(1)乳児期の保育に関する配慮事項	88.1%	11.9%
(2)満1歳以上～満3歳未満児の保育に関する配慮事項	94.3%	5.7%
5、指導計画作成にあたっての配慮すべき事項	94.0%	6.0%
6、研修と自己評価	85.0%	15.0%
7、子育て支援	83.0%	17.0%
合計	89.0%	11.0%

達成状況	できていること	できていないこと
1、総則	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども1人1人の年齢や発達段階を理解しながら関わり、健やかな成長ができるよう教育、保育を心掛け取り組んだ。 ・落ち着いた環境や関わりの中で子どもが過ごせるよう留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各法令に対し、理解しようとする意識をあまり高く持つことができていない。 ・動物侵入の対策や毎日の気温、湿度のチェックなど衛生、健康支援の配慮不足がある。
2、子どもの発達	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の連続性に配慮しながら、個々に応じた関わり方を考慮し、実践していくことができた。 ・心身の発達の個人差を理解するため、生理的、身体的な諸条件や成育環境の違いを把握しようと努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活の中で、更に子どもが感情豊かな表現をしたり、物事に対する関心を高められたりできるような関わりをしていく。

3、「ねらい」及び「内容」	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の発達や健康に関し、理解して取り組み、子どもに合った環境設定や教育、保育計画の立案もしながら、実践することに心掛けた。 ・子どもの言葉に耳を傾けることで、自分なりに表現する事ができるような支援をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方や、外国の方との交流の場をもう少し持てたらよかった。 ・子どもが音楽表現を自由にできるような環境を作る事をより考えていく。
4、低年齢児の保育実施の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性や養護を意識して、子どもが快適な空間の中で伸び伸びと、安心して過ごせるよう努めた。 ・ふれあいを十分に、子どもが人に触れられて心地よいと感じられるような関わりを努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園医やかかりつけの医師への定期的な連絡、連携が取れていなかった。 ・室内環境の配慮不足がある。感染症への知識を高め、保護者へ正しく伝えていく。
5、指導計画作成にあたっての配慮すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画(年、月、週案)に基づいた教育、保育を行い、日々課題や反省を生かし次の計画を作成している。 ・子どもだけでなく家庭環境も捉え作成するよう心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士で互いの教育、保育記録についての見返しをしたり、話し合ったりする時間が持てていない。
6、研修と自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修を行う場を設け、職員間で問題や課題についての共通理解は持ち取り組んでいる。 ・研修への参加、専門書の講読を積極的に行い保育教諭としての資質向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念や基本方針の理解が十分ではなかった。 ・自らの教育、保育を説明する機会が少なく、振り返る機会を設けられなかった。
7、子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳だけでなく、送迎時にも日々の子どもの姿や変化を伝え、成長を共に喜んだ。個人面談も年2回以上実施し、子育てについての悩みや課題を話し合うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育てのニーズを把握できても、それを教育、保育に結びつけることが難しい。

＜来年度取り組むべき課題及び提案＞

- ・子どもの非認知的な心の育ちを支えるには、保育教諭の役割が大きいことを特に心にとめておく。
- ・長期計画(年案)に基づき、具体的なねらいと内容を設定していく。
- ・正規職員だけでなく、全職員での情報共有の徹底を図り、より円滑な教育、保育に取り組めるようにしていく。
- ・地域機関との関わり、外国への興味や関心を高められるような取り組みの工夫をし、子どもの視野が広がるようにしていく。
- ・子どもへの関わり方などの技術を高めるだけでなく、専門知識や各法令に対する理解が深められるような、研修や勉強会により積極的に参加していく。